

第〇学年 学級活動（２）（３）指導案例（細案）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇） 〇校時
対 象 〇年〇組 〇名
指導者 〇〇 〇〇

1 題材 「(例) 気持ちのよいあいさつ」

題材名及び（２）、（３）の内容を記述する。

学級活動（２） ア 基本的な生活習慣の形成

2 題材について

(1) 児童生徒の実態

児童生徒の学級生活や学級活動における実態などを記述する。

(2) 題材設定の理由

題材が設定された背景や教師の指導観などを記述す

3 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
各学校で定めた評価の観点に基づき設定する。題材ごとに設定するのではなく、内容や時間のまとまりごとに評価できるように設定する。		

4 事前の指導

日 時	児童生徒の活動	指導上の留意点	〇目指す児童生徒 【観点】〈評価方法〉
児童生徒の活動（アンケートやノート等の記入）や教師の事前準備等について記述する。			

5 本時のねらい（目指す生徒の姿）

中学校は「目指す生徒の姿」と表記します。

6 本時の展開

段階	児童生徒の活動	指導上の留意点	○目指す児童生徒 【観点】 〈評価方法〉
導入	児童生徒の活動、指導上の留意点、活用する資料等について記述する。		
	(例) 「気持ちのよいあいさつ」 ア 基本的な生活習慣の形成 (参照) みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動 (小学校編) 国立教育政策研究所 編 P 8 1		
つかむ ○分	1 今までのあいさつの仕方について振り返る。アンケート結果から気付いたことを発表する。 ・先生にはあいさつしているけれど、友達にはあいさつしている人が少ない。 ・地域の人にもあいさつできるといいな。	[資料] アンケート結果 ・事前のアンケートの結果を知らせ、挨拶についての意識を高める。 [資料] 自分たちの挨拶の映像 ・アンケートの結果や、普段の自分たちが挨拶している様子を撮影した映像を見ることにより、今の挨拶の仕方について、振り返ることができるようにする。	
展開さぐる 見つける ○分	2 6年生のあいさつの映像を見て、6年生のあいさつについて考える。 ・毎朝何人とあいさつできたかを数えたら、たくさんの人に言えそうだね。 ・大きな声であいさつしたらどうだろう。気持ちいいのかな。 ・僕も自分からあいさつしよう ・顔をしっかりと見て言われるとうれしくなるよ。 ・はずかしいとできないけれど一度言ってみたら慣れてくるかも。 3 グループで考えたことを発表する。	[資料] 6年生の挨拶の映像 ・自分たちの挨拶と比べて、どんな点が違うのか、どうしたら6年生のように挨拶できるか、考えられるようにする。 ・なるべくたくさんの方について考えて発表し、一人一人がめあてを立てるときにそれぞれを比べながら、選んだり、参考にしたりすることができるようにする。 ・考えた方法を実際にグループの友達と試してみる。 ・挨拶されてどう感じたか発表し合ったり、みんなと一緒にやってみたりする。	○どうしたらもっとみんながにこにこするような気持ちのよい挨拶ができるか考えている。 【思考・判断・表現】 〈観察・発言〉
終末 決める ○分	4 本時を振り返り、自分の今後のめあてをもつ。	[資料] がんばりカード ・本時を振り返り、これから自分がどんなときにどのように挨拶するかについて、具体的なめあてや実践方法を決めて、がんばりカードに記入する。	○気持ちのよい挨拶について考え、自分のめあてを決めている。 【思考・判断・表現】 〈めあてカード・発言〉

7 事後の指導

日時	児童生徒の活動	指導上の留意点	○目指す児童生徒 【観点】〈評価方法〉
事後の児童生徒の活動や教師の支援方法等について記述する。			

8 板書計画

--